



# 千葉動力車

No. 98.9.30 4853

## 活発な討論繰りひろがるー 反台・運転保安闘争の強化を

### 大会報告 NO.2

大会二日目は冒頭、辻田実館山市議、争議団より櫻沢明美氏、中村仁氏より挨拶と決意を受けた。執行部より提案ののち、活発な一括討論が行なわれた。

### 主な意見・質問

●事務の長欠が出ているので、早急に補充が必要だ。また、JRになってから事務係の養成が全く行なわれておらず問題だ。(木更津)

●一〇名が営業に配転されているが、本線乗務も含めたストで闘ってもらいたい。

ダイ改提案で成東・銚子間の普通列車が削減されるなど問題が多い。

●銚子地区労の解散も含めた話が行なわれているが、他の状況はどうか。(銚子)

●JRは任用の基準を盾にして強制配転を止めようとしなさい。配転者の希望アンケート等を利用して支社に要求してもらいたい。駅長に対しても各現場でつきつけていきたい。

●日勤駅の「シルバー化」の噂が出ているがどのようになっているか。(銚子・営業)

●台風時の勤務指示が全くデータ

### 千葉動力車第26回定期大会

【メインスローガン】

正念 迎え 同鉄闘争 勝利  
と、 変える 闘争 運



### 永い間、ごくろうさまでした!

組合表彰を受ける川名泰さん、関豊さん、鶴岡直芳さん(左から)。この他、関弘明さん、斎藤勇さんが同表彰を受けました。

ラメだ。泊所の運転士の勤務終了が軒並み一六時前後になってくる。代替の送り込みなどを全くしようとしていない。

●台風時の指令の扱いで、千葉ー東京間で情報が伝わっていないため、運休の決定なども三〇分も違っている。(千葉転)

●指導員にDLの資格をもっていない者がいないため、添乗しても何もできない。二人乗務にすべきだ。

またDL担当に対しては、手当などの新設をはじめ改善しなければいけない課題が多くある。DL業務を外周にも担当させるように要求しているが、どうなっているのか。(千葉転・館山)

●検修職場では知識・技術・経験があるのに未だに二等級の人がいる。指導職まで自動昇格の実現を。

●二〇九系の導入で十一月から訓練が始まるが、訓練機関等問題がある。業務も要員も回らないのではないか。(津田沼)

●新型車両は故障事例がなく、故障時には対処できない。新型車両の訓練の充実が必要。

新宿までの定期行路は一往復しかないため、規定回数まで操縦訓練をやるのに相当の時間がかかる。新宿までの定期行路を増やす要求を。(乗務員分科)

●台風時、貨物列車の運用がでたらめで、アケが二回になるような状況だった。また、貨物と旅客の指令の連絡が全くできていない。貨物列車の運用の順位

を決めることが必要だ。

●今回の台風で貨物は五〇億以上の損害を出しているが、年末手当やベ・アへの影響は?

●五五才以上の賃金について、同じ仕事なのに減額率七〇%と旅客より多く、問題が多い。

●貨物乗務員二七〇〇名を二〇〇〇人体制にするという問題がでているが、どうなっているのか。(千葉機関区)

●貨物の京葉ルートへの乗り入れで、休養室の防音が必要。

この間、京葉線の風対策について指令の指示がバラバラになっている。(京葉)

●組織拡大の実現に向け、職場の雰囲気を変えていく必要がある。指導操縦者の指定について組合差別の撤廃を

台風時に助役が年休で出てこない等、現場も輸送管理能力が欠如している。(千葉転)

●台風時、千葉駅統合詰所に行っても千葉転の分だけ回して館山の分は全くやらない。

また、幕張の出区に間に合わないと指令に連絡したが、指令から幕張に伝わっていないというところもおきている。(館山)

●貨物の京葉線乗り入れが始まった場合、新小岩の基地の将来展望は。

●これから物販時期を迎えるが、オルグに行くのと得るものも多い。支部が全国に出ている。(新小岩)